



IAIA

International Association
for Impact Assessment

EIAは、計画に関心のあるすべての人々と計画の影響を受ける人々が「EIAが適切かどうか」を判断するための情報を提供しなければならない。

著者

Charlotte Bingham
Susie Brownlie
with contributions from
Peter Croal
Richard Morgan
Maria Partidário

FASTIPS

No. 20 | April 2020

EIAに入れるべき内容とは？ What should an EIA contain?

背景 環境影響アセスメント(Environmental Impact Assessment: EIA)は、環境アセスメント(Environmental Assessment: EA)や環境社会影響アセスメント(Environmental and Social Impact Assessment: ESIA)とも呼ばれ、開発計画による生物的・物理的・社会的他への影響を、計画実施に対する契約・判断が下される前に選定し、予測し、評価し、対策を講じる法に準じた手続きである(IAIA, Principles of Environmental Impact Assessment, 1999)。この世界的に知られた手続きは、提案された事業の負の影響を緩和し正の影響を増加させることで、持続可能な開発を確実に促進させることを意図している。ここでいうEIAという用語は、組織や言語によって異なる同じような意味の異なる呼び方の代わりに用いている。

FasTips の目的 このFasTipsの作成意図は、アセスメントの専門でない外部のステークホルダー(コミュニティグループ、ジャーナリスト、NGO、コミュニティ支援組織、影響を受ける人々)に対してわかりやすい言葉でのガイダンスを提供することである。このFasTipsは、外部のステークホルダーが、「このEIA手続きやレポートは、あるべき形になっているかどうか」を判断する際の参考になるよう作成されている。さらに、公聴会のための質問の準備の仕方、EIAレポート案が一般公開された際にコメントの書き方など、ステークホルダーの支援も意図している。たとえ事業を受け入れられないというステークホルダーの見解であっても、事業を止めるためではなく、事業をより良くするために意見を伝えることを目指している。

EIAのあるべき姿

- EIAは提案された計画を診断・評価する作業である。EIAは法や政策に従って公表されなければならない。同時にEIA実施の条件を提供するセクター・地域・空間計画の政策・プラン・プログラムのSEAも同様に公表されていなければならない。
- EIAでは、事業の最も早い段階に関心を持つ人々と影響を受ける人々と交流すべきである。そうすることで、人々の心配や要望を設計レイアウトや代替案立案に反映させることができ、EIAの実施計画案を人々に伝えることができる。スコーピングは、関係するステークホルダーを確実に参加させ、EIAを重要なポイントに集中させるために必要な手続きである。
- EIAは、生物・物理環境への影響(水、生物多様性、大気、土壌)と人への影響(社会、文化財¹、経済、生計、健康、安全、人権、ジェンダー)の関係を明らかにし、評価しなければならない。さらにEIAは持続可能な開発目標(SDGs)も考慮しなければならない。専門家は、深刻になるかもしれないすべての影響をリスト化し、生物・物理環境と人の関係を明らかにすべきである。生物・物理環境と人の関係は、生態系サービスを分析することでより分かりやすくなる。
- 事業と事業影響の受忍限度は、気候変動を考慮したうえで評価すべきである
- EIAは、直接的影響、間接的影響、波及影響、累積的影響(複数の事業が同一の環境資源・人々に対して与える加算的・相乗的影響)という一連の影響について言及すべきである
- EIAでは、事業による負の影響の回避策・最小化策・代償策や事業による正の影響の促進策を提案すべきである。またEIAではあるものを優先させると別のものに影響が出るといったトレードオフの関係にも言及すべきである。EIAは、事業によって得られる利益がどこの誰にもたらされるのか、事業によって受ける損益をどこの誰が被るのか、公平な分配かどうかを分析すべきである。

¹ 文化財とは、歴史的・考古学的・古生物学的・宗教的・その他重要/無形文化(伝統技術、工芸品など)に関わる場所や構造物を含む

EIAレポートのあるべき姿

- EIAレポートは事業の大きさ/規模、立地が反映されていなければならない。EIAレポートは客観的であるべきで、EIAで判明しことを一般向け概要版で提供しなければならない。EIAレポートは、「専門家の調査結果」が査読を受けたかどうかを記載すべきである。現況調査結果と影響を評価する方法は、はっきり記載すべきである。
- 影響予測はデータに基づき論理的な方法で行わなければならない。生物物理影響・気候変動・健康影響は、原因と結果が科学的に証明され各種モデルも開発されている。一方、社会的・文化的・経済的影響の解釈は、歴史・流行・立地・背景事情などに左右される。特に先住民・障がい者・高齢者・女性など脆弱な人々に対する影響の解釈は左右されやすい。どのような状況下でも、完全に正確なベースライン情報と将来予測に基づいた信頼性の高い影響予測の上にEIAを行うべきである。
- EIAでは、影響の大きさを評価する方法(科学的なものとの判断によるもの両方を含む)が述べられるべきである。関連する国際条約(生物多様性条約など)、SDGs、法令、慣習法、国の基準値、自治体の基準値などを引用記載しなければならない。影響を受ける人々が受忍可能な影響の程度は重要であるため、ステークホルダーとの取り決めがカギとなる。固有・希少・危機にある・代償不可能な資源の消失を伴う影響や、回復不能な影響、影響を受ける人々にとって受け入れることのできない影響はすべて重大な影響になる。

より深く知るための文書

Assessing Environmental Impacts - A Global Review of Legislation. UNEP 2018.

United Nations Sustainable Development Goals. FasTips (all available from <https://www.iaia.org/fasttips.php>). See: No. 1: Impact Assessment (April 2012), No 3: Climate-smart Decisions (February 2013), No. 5: Biodiversity Assessment (June 2013), No 9: Non-Technical Summary (March 2015), No. 11: Alternatives in Project EIA (November 2015), No. 14: Assessing Significance in Impact Assessment of Projects (November 2016), No. 16: Cumulative Effects Assessment (November 2017); No. 17: Induced impacts (October 2018), and No. 18: Scoping (November 2018).

Want to know more?

www.iaia.org > Resources > Publications > FasTips

Do you have a suggestion or a request for a FasTip on a different topic?
Contact Maria Partidário (mpartidario@gmail.com), FasTips Series Editor.

FasTips Task Force: Maria Partidário (Chair), Charlotte Bingham, Richard Fuggle, Peter Croal, Jos Arts, and Anita Mosby.

和訳: 浦郷昭子

This document was translated into Japanese by Akiko Urugo. The original document can be found at https://www.iaia.org/uploads/pdf/FasTips_20.pdf. IAIA has not reviewed this translation for accuracy.

知るべき五つの重要なこと

1. EIAは、すべての事業段階のすべての活動、事業が依存するすべての関連インフラ・活動(例えばアクセス道路、採石場、工事用宿舎、送電線、水源など)について記載し、評価しなければならない。
2. EIAは最初のスコーピングを参照し、特定された可能性のある影響について述べる必要がある。
3. EIAは、すべての関係する環境資源(危機にある/希少な生物多様性、水、生態系サービス)、有形/無形文化財、健康と安全、住民移転と生計への影響、気候変動による影響を考慮すべきである。
4. EIAは、より負の影響が少なく、より正の影響をもたらす実現可能な代替案を考えなければならない。
5. EIAは、選定された代替案に対し、負の影響に対して現実的なミティゲーション(回避・防止/最小化/修復・復元/オフセット・補償)と正の影響に対する促進策を提供すべきである。EIAはまた、望ましい結果を実現させるためのモニタリングと順応的管理を提供すべきである。

実行すべき五つの重要なこと

1. EIAレポートがオンラインまたは公共施設(図書館など)で閲覧可能かチェックすること。もし不可能であれば、閲覧できるように要求すること。公聴会、住民協議、説明会の知らせを見つけ、参加すること。知りえた情報を他のステークホルダーたちと共有すること。
2. 事業に適用されるEIA制度を理解し、事業と関連のある政策やプランも調べる。
3. EIAレポートがEIA実務者(人、会社またはその両方)とその資格・証明証を掲載しているかどうか確認すること。また、自身でも彼らが信頼できるか、できれば専門家として登録されているかを確認すること。
4. EIAが最新で信頼できる情報を用いているか、すべてのステークホルダーを認識しているか、スコーピング時に上がったすべての心配事項に言及されているか、バイアスや偏見を持って調査結果を解釈していないかを確認すること。
5. 政府や国際機関もしくは民間企業が意見を求めて文書を公開した場合、質問やコメントを準備すること。質問を投げかけ、可能であれば文書での回答を要求すること。もし、あなたがEIAプロセスやレポートに不満がある場合、独立機関に審査(Independent review)を求めるか、意思決定機関に働きかけること。